

JICA 国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト 2024

滋賀の受賞者へ賞状を授与

JICA が実施する「[国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト](#)」について、2024 年度は「未来の地球のために ～私たちにできること～」をテーマに作品を募集しました。この度、全国からの応募総数 36,202 作品(中学生の部:16,526 作品、高校生の部:19,676 作品)の中から、「国内機関長賞(JICA 関西所長賞)」を受賞した生徒の学校を JICA 関西が訪問し、賞状を授与します。訪問時には、世界に関心を寄せる受賞生徒と国際協力経験豊かな JICA 関西・[滋賀デスクの国際協力推進員](#)が、国際協力や SDGs 等について懇談予定です。

世界とのつながりがますます深まる現在、未来と地球のために、生徒たちが何を学び、どのような行動をしようとしているのか、ぜひ取材ください！

受賞生徒、学校教諭、滋賀デスクへのインタビューが可能です。

【日程】 2 月 21 日(金)15:00～ (30 分程度) ※写真撮影はしていただきません

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
滋賀県立守山中学校	国内機関長賞	1	文化の壁をなくそう	守山市守山
	佳作	1	考えることを忘れない	3－12－34
	特別学校賞(※)			

【日程】 3 月 6 日(木)12:00～ (30 分程度)

学校名	賞	学年	受賞作品名	学校所在地
学校法人ヴォーリス 学園 近江兄弟社高等学校	国内機関長賞	2	失われゆく国の多様性:マルタ 留学で見つけた「多文化共生の 新たなカタチ」	近江八幡市 市井町177
	特別学校賞(※)			

(※)5 年以上連続で学校賞(60 作品以上または全校生徒の 3 割以上の応募があった学校)を受賞した学校が対象

取材希望の場合は下記連絡先まで事前にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】
JICA 関西 市民参加協力課 浅田 瑠理 TEL:078-261-0384 E-mail:Asada.Ruri@jica.go.jp

<参 考>

【受賞作品概要】

●国内機関長賞 滋賀県立守山中学校 1年 タイトル:文化の壁をなくそう

小学生の時、日本人とボリビア人のハーフの転校生がクラスに来たが、言語や肌の色の違いから仲良くなりきれなかったことに心残りが残る。これから日本に住む外国人が増え交流が増える時代になる。人種の壁をつくる「我々意識」はなくならないが、人々が心をひらき「我々」のくりを広げたい。そのためには言語の障壁を乗り越え、自国の文化を理解し伝え相手の文化を理解し認め合うことが必要だ。文化と言語を理解し尊重する部分のバランスがとれれば転校生とも仲良くやれたと感じている。お互いが自分のことを伝え、相手を尊重することができれば、日本人と外国人が協力できる世界を作ることができると思う。

●佳作 滋賀県立守山中学校 1年 タイトル:考えることを忘れない

トルコ地震と石川県地震のニュースを見て、トルコ地震は遠い外国のものだと無意識に思っており、私は情報を拾うだけになっていると気づいた。どんな物事も自分の意見や感想を持ち、言語化することが大切だと思った。そして行動に移したり、考えを友達や家族に共有したりすることで繋がりが生まれ、連鎖して世界と繋がりが生まれるだろう。たくさんの情報から学び、考えを深めていけば未来の地球をより良いものにできる。そのために、今はコミュニケーションや繋がりを大切に、私達がこれからの社会を作っていくことを意識していきたい。

●国内機関長賞 学校法人ヴォーリズ学園 近江兄弟社高等学校 2年

タイトル:失われゆく国の多様性:マルタ留学で見つけた「多文化共生の新たなカタチ」

日本では移民受け入れが議論されている中、私が懸念するのは異文化の流入によって国固有の文化が希薄化し同質化が進むことだ。そこで私は文科省のプログラムに参加し、マルタで解決策を模索することに決めた。マルタの人々が自国の文化を大切にしつつ、他国の文化に敬意と関心を寄せる姿に感銘を受け、世界中の留学生との交流では、国々に誇りと文化があることを再認識した。私達は一度失われたら取り戻せない人類共通の財産として文化を後世に伝える責任がある。留学後は京都を海外の人に伝えるボランティアをする予定だ。国際的な活動を積み重ね、多文化共生社会で「新たな共生のカタチ」を模索し続けたい。

【関西の応募(審査作品)総数】

都道府県	中学	高校	全体
滋賀県	1,001	324	1,325
京都府	479	981	1,460
大阪府	1,089	1,165	2,254
兵庫県	292	633	925
奈良県	396	7	403
和歌山県	89	17	106
計	3,346	3,127	6,473

賞の種類(中学生・高校生共通):

個人賞 最優秀賞 3名
(JICA理事長賞、外務大臣賞、文部科学大臣賞)
優秀賞 3名
審査員特別賞 4名
国際協力特別賞 10名
国内機関長賞 各都道府県1名以下
佳作 70名程度
【副賞】最優秀賞・優秀賞:海外研修
その他個人賞:フェアトレード商品
【参加賞】応募者全員(バナナペーパーステッカー)
学校賞 60作品以上または全校生徒の3割以上応募(副賞:表彰メダル)
特別学校賞 5年以上連続学校賞受賞(副賞:表彰楯)

【エッセイコンテストの概要】

次世代を担う中学生・高校生を対象に、エッセイを書くという行為を通じて、国際協力について考えてもらうきっかけを提供し、開発課題や国際協力への興味・関心を高めてもらうことを目的に実施。1962年度に「海外移住懸賞作文」として開始され、2024年度は高校生の部が63回目、中学生の部は29回目を迎える事業。

最終審査員長は中学生の部に尾木直樹氏(教育評論家・法政大学名誉教授)、高校生の部に星野知子氏(俳優・エッセイスト)を迎える。

国際協力中学生・高校生エッセイコンテスト HP (右 QRコード参照)

